

耳となり聴覚障がい者を支える団体

聴覚に障がいがある方を、耳となり支えているボランティア。それぞれの団体の会長に活動内容を聞きました。

「手話」を広めて垣根のない社会づくりを目指しています

海老名市手話サークル さつき会
(会員101人/昭和50年発足)

市や社会福祉協議会が主催する手話講習の修了者などで組織する団体で、10~80代の幅広い年齢層で構成しています。聴覚障がい者の団体「海老名市聴覚障害者協会」と連携し、直接障がい者から手話を学んだり、交流会を通じてお互いの理解を深めています。また、市内小学校の「ふくし教室」にも協力しています。聴覚障がいは「目に見えない障がい」といわれます。



毎週(木)の勉強会は海老名市聴覚障害者協会会員と一緒に

あなたのそばで不自由にしている方がいるかもしれません。気付いたら積極的にコミュニケーションを取ってほしいです。私たちは、障がい者も健常者も楽しく生活できるより良い社会づくりを目指して日々活動しています。

手話の分からない人を「文字」で支援します

筆記通訳 風
(会員19人/昭和63年発足)



手書きの要約筆記。投影機(OHC)で筆記した内容をプロジェクターで投影

筆記通訳は聞こえが不自由な方の「耳代わり」となり、話の内容をその場で文字にして伝えることです。音声内容を要約しながら伝えるため「要約筆記」ともいわれています。活動場所はさまざま、場面に応じてパソコン・手書きと手法を変えています。また個人の方へは隣で筆記(ノートテイク)をします。「聞こえないということ」「聞こえないと困ること」「聞こえない人すべてが手話が分かるとは限らないこと」などを



パソコンを使用した要約筆記。プロジェクターで文字を投影

多くの方に知ってほしいので、聴覚障がいがある会員と共に小学校での「ふくし教室」ほか、いろいろな場で啓発活動を行っています。

ボランティア活動を始めてみませんか?

「ボランティア活動を始めたが、どうしたらよいか分からない」という方は、総合福祉会館で行っている入門講座を受講してみましよう。詳細は、海老名市社会福祉協議会ボランティアセンター(めぐみ町6-3 ☎232-1600)へお問い合わせください。

パソコン要約筆記講習会(全7回)

令和2年1月17日(金)~2月28日(金)の毎週(金)時13時30分~15時30分(場)総合福祉会館定15人費無料
持ノートパソコン申直接または電話で障がい福祉課へ。12月20日(金)締め切り。応募多数の場合は抽選(他)初回の「聞こえに関する講義」は、申し込み不要でごなたでも参加できます

今すぐ実践!

わたしたちじでできる「じ」

障がいのことや障がいがある方への接し方を知り、できることから実践しましょう。

視覚障がい

「全盲」の人や「弱視」の人、光を感じる程度の視力の人など、見えにくさはそれぞれです。

視覚に障がいがある方は

- 白杖を携帯したり盲導犬を連れてくる場合があります。
- 音声や点字、手で触ることなどから必要な情報を得ています。
- 読み書きや不慣れた場所での単独行動が困難です。

接し方

まずは、声を掛けよう

「何かお手伝いしましょうか?」などの声を掛けましょう。そのあとに本人の希望に合わせてサポートします。



具体的な説明をしよう

「あれ」「そこ」などの言葉は使わずに、「右側に手すりがあります」などと具体的に説明します。手で触って確認してもらう方法も良いでしょう。

聴覚障がい

「音が全く聞こえない」「聞こえにくい」場合があります。聞こえにくさはそれぞれです。補聴器を着けている人も健常者と同じように聞こえるわけではありません。

聴覚に障がいがある方は

- 見た目では障がいがあることが分からない場合があります。
- 手話や文字、相手の表情や口元の動きなどから必要な情報を得ています。
- 大きな声で話すと聞き取りにくくなる場合があります。

接し方

相手に「分かるように」

「短く分かりやすい文で筆談をする」「口元の動きを見せてはっきり・ゆっくり話す」など、相手に伝わるようにさまざまな方法でコミュニケーションをとります。



「手話」を覚えよう

簡単なものから少しずつ覚え、身ぶりや補いながら積極的に使ってみましょう。



ありがとう

マークで知る!

視覚・聴覚障がいマーク

視覚・聴覚障がいに関する主なマークを紹介します。

耳マーク

聞こえが不自由なことと配慮を必要とすることを示す

聴覚障害者標識

聴覚障がい者が運転している車を示す

ほじょ犬マーク

補助犬のことを広く普及・啓発するため、補助犬を受け入れる店の入り口などに貼られる

「白杖SOS」シグナル」普及啓発シンボルマーク

白杖を頭上50cm程度に掲げると「SOS」、助けが必要であるという意味。ポーズその意味を広く普及啓発する

ヘルプマーク

聴覚障がいや内部障がいなど外見では分からない方が援助や配慮を必要とすることを示す